

地震で、第三小学校体育館のモルタル落下

森市議は現場を視察しました。

共産党市議団が市に要求し、応急対策を講じさせました。

東日本大震災が起きた 11日午後2時46分、第三小学校の体育館では5年生の3クラスの児童が「6年生を送る会」の演奏の練習がおこなわれていました。

天井の水銀灯が激しく揺れるなか、校庭に面した出口から児童が避難を始めましたが、突然出口の真上のモルタルの壁がはがれ落下しました。

森市議は、早速 第三小学校の体育館の落下現場を見てまわりました。

大きな破片は30センチ位でかなりの重さ、もし生徒の頭に当たったらと思うとゾッとするものでした。

8人の生徒の背中・腕などに落ちてきた破片が当たりましたが、幸い軽傷で済みました。

先生からは、「恐怖心を抱いた児童がいるため、体育館に入れない児童もいる、心のケア・カウンセリングが必要」との話しがでています。

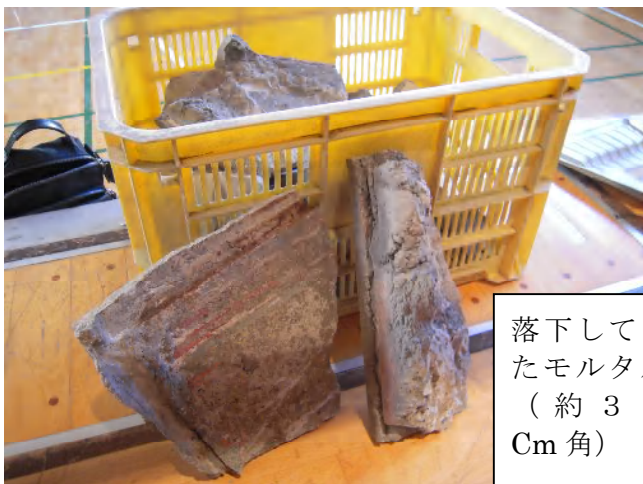
第三小学校は校舎の建て替えがおこなわれる予定です。体育館は耐震診断では構造上問題がないとされていました。

今回の落下事故を受け、改めて全小学校の校舎と体育館の耐震診断・調査が緊急に必要と思われます。

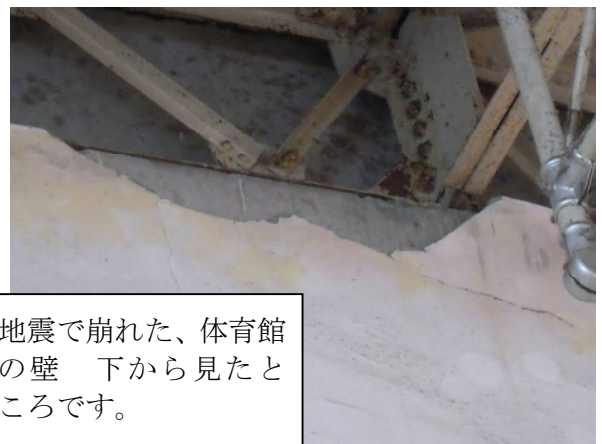
共産党市議団は、15日の予算委員会で取り上げ、緊急の改善策を要求しました。

市は、モルタルの壁の応急策を講じ、児童のケア・カウンセリングの処置もおこなうと答弁しました。

森 徹市議は、抜本的な解決に全力をあげていきます。



落下してきたモルタル
(約30Cm角)



地震で崩れた、体育館の壁 下から見たところ。

共産党市議団は、震災の翌日の12日午前、三鷹市に「地震に関する市民の相談窓口を設置すること」、「ガス再開の際の留意点をお年よりの方に丁寧に周知すること」などの緊急の申し入れをおこないました。